

## 米国 価格上昇と減税効果により堅調を維持 (08年6月製造業受注)

発表日：2008年8月8日(金)

～08年後半は受注減速の公算～

第一生命経済研究所 経済調査部

近江澤 猛(おおみさわ たけし)

03-5221-4526

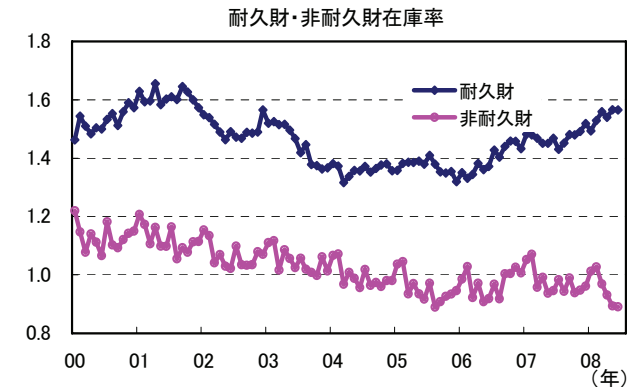
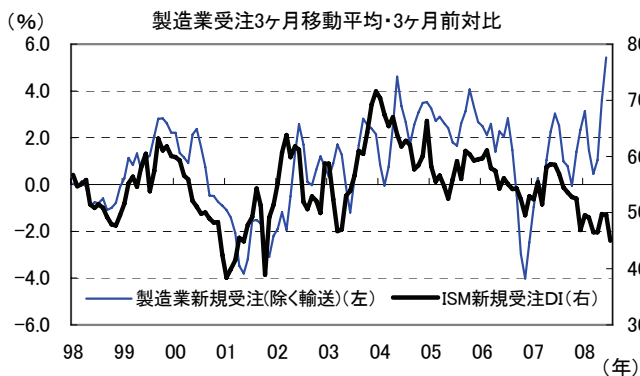
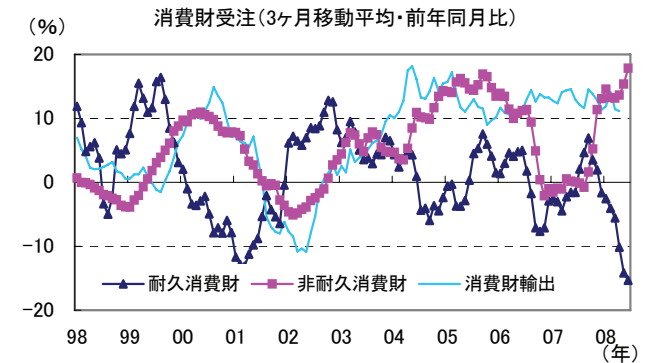
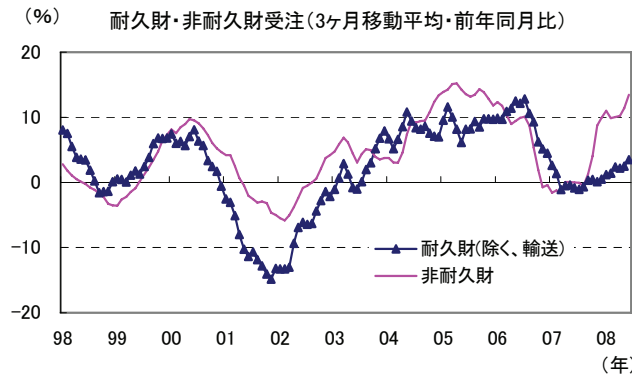
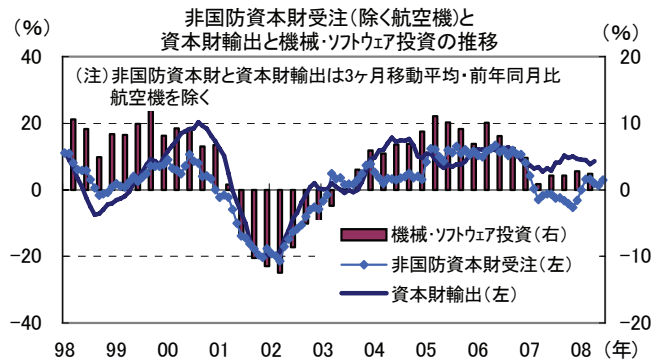
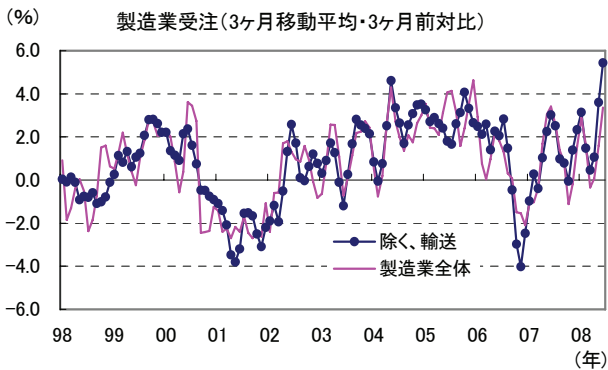
- 6月の製造業受注は前月比+1.7% (前年同月比+7.1%) と前月同+0.9% (同+5.4%) から大幅加速し、市場予想の同+0.7%を大幅に上回った。変動の大きい輸送機器を除くと、前月比+2.3% (前年同月比+11.7%) と前月の同+0.8% (+7.9%) から大幅に加速し、製造業受注は堅調に推移している。耐久財、非耐久財の分類でみると、耐久財は前月比+0.8%と前月から受注は増加したものの、前年同月比は▲1.2%と4カ月連続でマイナス、3カ月移動平均・前年同月比でも減速幅が拡大した。資源国、新興国の需要に下支えされるも、ガソリン高による自動車部門の不振や、原燃料高による消費者、企業のマインド悪化により、耐久財受注は下押し圧力を受けている。一方、非耐久財は前月比+2.5% (前年同月比+15.7%) と前月同+1.7% (同+12.4%) から加速し、堅調を維持している。エネルギー、資源価格の上昇による受注額の押し上げに加え、所得税減税による消費の押し上げ効果によるものとみられる。
- 機械・ソフトウェア投資の先行指標である非国防資本財(航空機除く)は前月比+1.2% (前年同月比+5.1%) と前月同▲0.3% (同+2.5%) から大幅に加速したため、9月にかけて機械・ソフトウェア投資が加速するものとみられる。しかし、6月は振れの大きい船舶・ボートの受注が前月比+52.8%と大幅に増加した影響で上振れており、非国防資本財(航空機除く)受注は鈍化基調にある。
- 耐久財受注をカテゴリー別にみると、一次金属は前月比+5.2% (前年同月比+22.8%) と資源価格高騰の影響と新興国の需要により前年から高い伸びが続いている。加工金属製品は同+1.5% (同+1.9%) と底堅く推移している。機械は同+2.6% (同+11.8%) と新興国、資源国需要を背景に前年から高い伸びを維持している。コンピュータ・電子製品は同▲0.6% (同+4.9%) と価格競争による価格下押し圧力が強く軟調が続いている。電気機器は同+4.6% (同+7.1%) と新興国需要に支えられ、前月比、前年比とも堅調に推移している。輸送機器は同▲2.7% (同▲17.7%) と自動車・同部品は不振ながらもストライキが5月に終わった影響で前月比プラスとなったが、非国防航空機・同部品が大きく下振れたため全体では前月比、前年比とも大幅マイナスとなった。
- 今後の製造業受注だが、7月のISM製造業景況感指数の新規受注DIが45.0と拡大縮小の分岐となる50を下回り、前月からも大幅に悪化したため、足元での新規受注の減速が示唆される。08年後半は、所得税減税効果の剥落による消費の減速と、エネルギー、資源高による企業収益圧迫から設備投資意欲の低下が予想される。また、新興国経済の減速も予想されており、外需の下支えも徐々に弱まることが見込まれることから、製造業受注は前月比で減速基調を辿る公算が大きい。

製造業受注 (Manufacturers' Shipments, Inventories and Orders)

	出荷			受注						在庫		
	製造業	非国防資本財		製造業	非国防資本財		製造業	非国防資本財		製造業	非国防資本財	
		除く輸送機器	除く航空機		除く輸送機器	除く航空機		除く輸送機器	除く航空機			
07/07	+2.1	+1.4	▲0.5	+3.4	(+4.3)	+2.4	(+0.3)	+1.5	(▲2.0)	+0.1	+0.0	▲0.3
07/08	▲1.9	▲1.6	+1.8	▲3.5	(+1.6)	▲1.9	(▲0.4)	+0.3	(▲1.6)	▲0.1	▲0.1	+0.4
07/09	▲0.3	+0.2	+1.2	▲0.3	(▲0.8)	+0.4	(+2.8)	▲0.2	(▲6.2)	+0.8	+0.8	+0.6
07/10	+1.3	+1.4	▲1.6	+1.1	(+5.3)	+1.2	(+5.3)	▲2.2	(▲4.7)	+0.1	+0.1	+0.8
07/11	+1.9	+2.2	+0.6	+1.8	(+5.3)	+1.9	(+6.9)	+0.0	(▲5.0)	+0.7	+0.5	+0.5
07/12	▲0.6	▲0.4	+1.1	+1.9	(+5.7)	+0.6	(+5.4)	+4.5	(+0.2)	+0.8	+0.5	+0.4
08/01	+1.1	+0.7	▲0.4	▲2.4	(+7.3)	▲0.4	(+8.1)	▲0.8	(+5.0)	+1.3	+1.3	+0.5
08/02	▲1.9	▲1.6	▲1.3	▲0.4	(+5.1)	▲1.6	(+5.3)	▲0.9	(+4.5)	+0.6	+0.5	+0.6
08/03	+1.1	+1.9	+0.8	+1.5	(+4.2)	+2.6	(+6.9)	▲1.0	(+0.1)	+0.9	+0.8	+1.3
08/04	+2.7	+2.9	+1.0	+1.3	(+4.0)	+2.8	(+8.1)	+3.1	(+1.3)	▲0.0	▲0.2	+0.4
08/05	+0.3	+0.9	+0.2	+0.9	(+5.4)	+0.8	(+7.9)	▲0.3	(+2.5)	+0.6	+0.5	+0.1
08/06	+1.6	+1.6	+0.7	+1.7	(+7.1)	+2.3	(+11.7)	+1.2	(+5.1)	+1.0	+1.0	+0.3

(出所) 米商務省

(注) 前月比伸び率。 () 内は季節調整値の前年比。



(出所) 米商務省、ISM

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。